

【説明会資料】

平成 30 年度

**大阪市「全国学力・学習状況調査」
の結果について**

平成 30 年 9 月 19 日・25 日

✕ 大阪市教育センター

目 次

◇ 調査の概要	1	
・教科に関する調査結果の概要	・平均正答率《大阪市と全国》	
・平均無解答率《大阪市と全国》	・各問題における正答数分布	
・大阪市の平均正答率・平均正答数・平均無解答率		
◇ 教科に関する調査結果	5	
・小学校国語	・小学校算数	・小学校理科
・中学校国語	・中学校数学	・中学校理科
◇ 質問紙調査の結果	31	
・授業づくりの考え方	・生活習慣づくり	・学習習慣づくり
・自尊感情・規範意識	・地域・社会とのつながり	・教育課程の取組

(参考)

実施年度	全 国	大 阪 市	備 考
平成 19 年度 ～平成 21 年度	悉皆調査※1	悉皆調査（全小中学校が参加）	
平成 22 年度	抽出調査※2	抽出調査＋希望利用方式※3 （全小中学校が参加）	
平成 23 年度	実施なし	希望利用方式 （全小中学校が参加）	
平成 24 年度	抽出調査	抽出調査＋希望利用方式 （全小中学校が参加）	・理科に関する調査
平成 25 年度	悉皆調査	悉皆調査（全小中学校が参加）	・経年変化分析調査 ・保護者に対する調査 ・教育委員会に対する調査
平成 26 年度	悉皆調査	悉皆調査（全小中学校が参加）	
平成 27 年度	悉皆調査	悉皆調査（全小中学校が参加）	・理科に関する調査
平成 28 年度	悉皆調査	悉皆調査（全小中学校が参加）	
平成 29 年度	悉皆調査	悉皆調査（全小中学校が参加）	・指定都市の結果公表
平成 30 年度	悉皆調査	悉皆調査（全小中学校が参加）	・理科に関する調査 ・指定都市の結果公表

※1：全国の小中学校をもれなく調査する方法

※2：全小中学校のうち、一定の割合の学校を対象として調査する方法

※3：学校長の希望により、調査を利用することができる方法

調査の概要



1 調査の目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、児童生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、大阪市教育振興基本計画に基づく教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

- 小学校第6学年の全児童
- 中学校第3学年の全生徒

3 調査内容

- ◇教科に関する調査（国語、算数・数学・理科）
 - ・主として「知識」に関する問題（A問題）
 - ・主として「活用」に関する問題（B問題）
 - ※ 理科については、主として「知識」に関する問題と、主として「活用」に関する問題を一体的に出題
- ◇質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

4 調査方式 悉皆調査

5 調査日時 平成30年4月17日(火)

6 調査を実施した学校・児童生徒数

- ・小学校 290校、18,175人
- ・中学校 131校、16,341人

教科に関する調査結果の概要

- 平均正答率は、前回の調査結果と比べ、小学校算数A・B問題、中学校理科においては全国との差が小さくなっています。他の教科は、小学校、中学校とも「対全国比」がほぼ横ばいです。
- 平均無解答率は、小学校国語A問題、算数A・B問題において全国に比べて低く、中学校国語B問題、数学A・B問題においても前回の調査より差が小さくなっています。

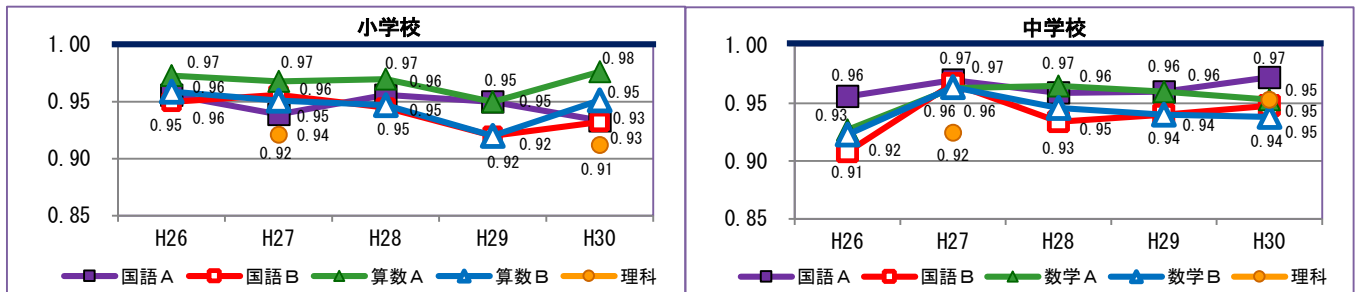
平均正答率《大阪市と全国》

※悉皆調査の平成 26, 27, 28, 29, 30 年度を取り上げています。

		H26			H27			H28			H29			H30		
		大阪市	全国	全国比	大阪市	全国	全国比	大阪市	全国	全国比	大阪市	全国	全国比	大阪市	全国	全国比
小国	A問題	70	72.9	0.96	66	70.0	0.94	70	72.9	0.96	71	74.8	0.95	66	70.7	0.93
	B問題	53	55.5	0.95	63	65.4	0.96	55	57.8	0.95	53	57.5	0.92	51	54.7	0.93
小算	A問題	76	78.1	0.97	73	75.2	0.97	75	77.6	0.97	75	78.6	0.95	62	63.5	0.98
	B問題	56	58.2	0.96	43	45.0	0.96	45	47.2	0.95	42	45.9	0.92	49	51.5	0.95
中国	A問題	76	79.4	0.96	74	75.8	0.98	73	75.6	0.97	74	77.4	0.96	74	76.1	0.97
	B問題	46	51.0	0.90	64	65.8	0.97	62	66.5	0.93	68	72.2	0.94	58	61.2	0.95
中数	A問題	63	67.4	0.93	62	64.4	0.96	60	62.2	0.96	62	64.6	0.96	63	66.1	0.95
	B問題	55	59.8	0.92	40	41.6	0.96	42	44.1	0.95	45	48.1	0.94	44	46.9	0.94
小理					56	60.8	0.92							55	60.3	0.91
中理					49	53.0	0.92							63	66.1	0.95

対全国比の経年比

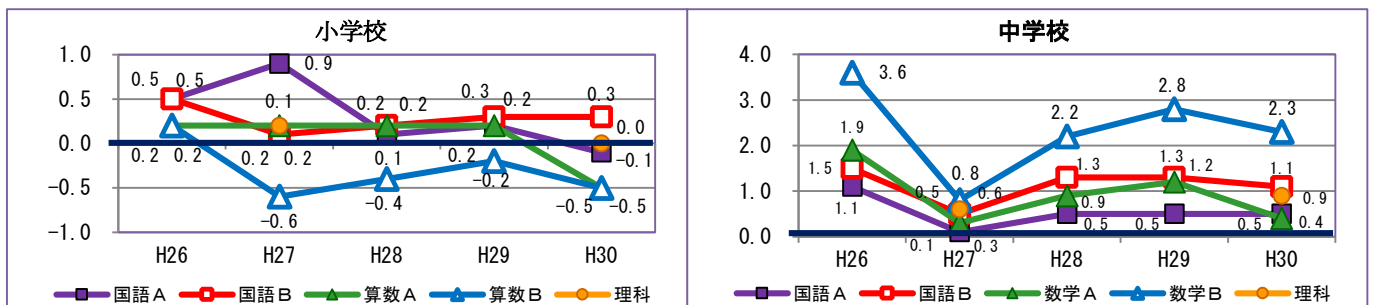
※グラフは、全国の平均正答率を1としたときの大阪市の割合を表したものです。



平均無解答率《大阪市と全国》

		H26			H27			H28			H29			H30		
		大阪市	全国	差	大阪市	全国	差	大阪市	全国	差	大阪市	全国	差	大阪市	全国	差
小国	A問題	2.8	2.3	0.5	4.5	3.6	0.9	5.4	5.3	0.1	3.0	2.8	0.2	3.4	3.5	-0.1
	B問題	9.7	9.2	0.5	6.2	6.1	0.1	4.8	4.6	0.2	4.6	4.3	0.3	4.1	3.8	0.3
小算	A問題	1.1	0.9	0.2	2.0	1.8	0.2	2.0	1.8	0.2	1.8	1.6	0.2	2.0	2.5	-0.5
	B問題	4.5	4.3	0.2	8.5	9.1	-0.6	7.0	7.4	-0.4	6.2	6.4	-0.2	7.4	7.9	-0.5
中国	A問題	4.2	3.1	1.1	2.7	2.6	0.1	2.5	2.0	0.5	2.9	2.4	0.5	3.6	3.1	0.5
	B問題	5.0	3.5	1.5	2.7	2.2	0.5	5.7	4.4	1.3	5.1	3.8	1.3	4.1	3.0	1.1
中数	A問題	2.8	2.3	0.5	4.5	3.6	0.9	5.4	5.3	0.1	3.0	2.8	0.2	3.7	3.3	0.4
	B問題	9.7	9.2	0.5	6.2	6.1	0.1	4.8	4.6	0.2	4.6	4.3	0.3	14.9	12.6	2.3
小理					3.4	3.2	0.2							1.2	1.2	0.0
中理					7.6	7.0	0.6							5.9	5.0	0.9

対全国差経年比較

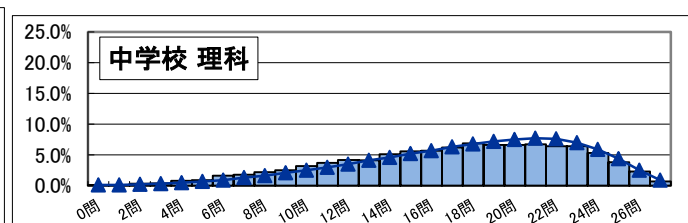
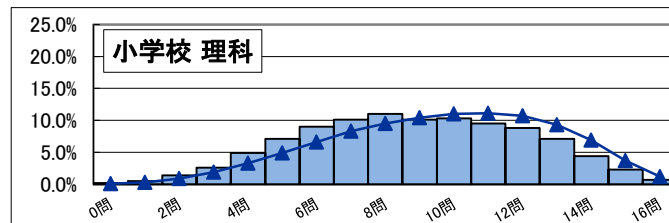
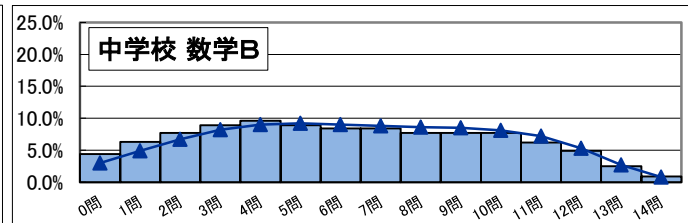
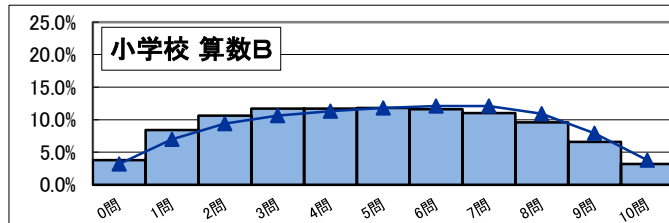
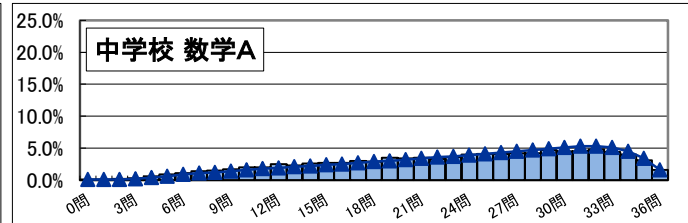
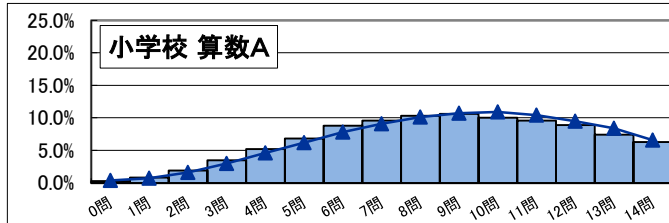
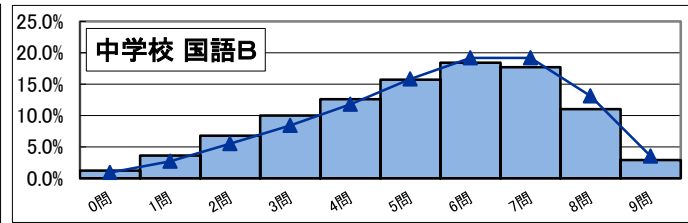
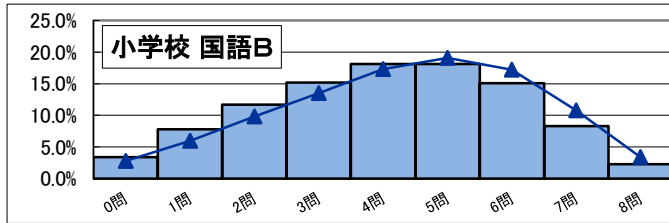
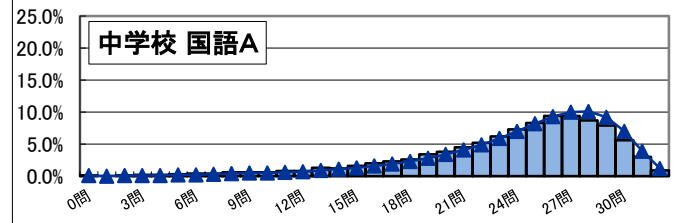
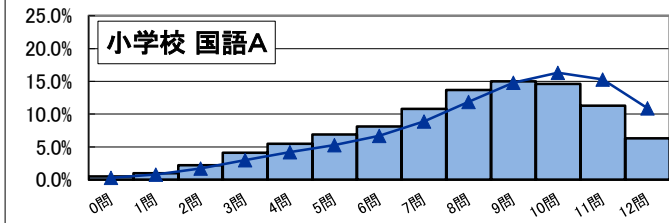


各問題における正答数分布

下のグラフは、大阪市を棒グラフ、全国を折れ線グラフで示しています。大阪市のグラフは、全国とほぼ同じような形状ですが、いずれの教科においても、棒グラフの方が左に寄っていることから、大阪市は全国に比べて正答数の少ない児童生徒の割合が高いことが分かります。

小学校 大阪市 全国

中学校 大阪市 全国



大阪市の平均正答率・平均正答数・平均無解答率

小学校	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科
平均正答率	66	51	62	49	55
平均正答数	7.9 問/12 問	4.1 問/8 問	8.6 問/14 問	4.9 問/10 問	8.8 問/16 問
平均無解答率	3.4	4.1	2.0	7.4	1.2

中学校	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	理科
平均正答率	74	58	63	44	63
平均正答数	23.6 問/32 問	5.3 問/9 問	22.9 問/36 問	6.2 問/14 問	17.1 問/27 問
平均無解答率	3.6	4.1	3.7	14.9	5.9

